

表10-3 プランクトン同定計数結果

亀山ダム貯水地

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年 月 日			H 19. 4. 22	H 19. 4. 22	H 19. 4. 22
採取時刻			10:26	11:05	9:25
全水深 (m)			20.7	15.6	16.7
採取水深 (m)			0.20	0.20	0.20
採水量 (ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	CYANOPHYCEAE (トリコーム)	(2)	
2	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	112	106
3			CRYPTOPHYCEAE	382	94
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridiniaceae	4	10
5			DINOPHYCEAE	2	2
6	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon spp.	26	482
7			Mallomonas spp.		8
8		珪藻	Achnanthes sp.	8	
9			Asterionella formosa	+	52
10			Aulacoseira ambigua		+
11			Aulacoseira distans	8	+
12			Nitzschia spp.		14
13			Synedra acus		1
14			Thalassiosiraceae-5	215	125
15			Thalassiosiraceae-10	6	14
16			Thalassiosiraceae-25		12
17	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	8	16
18	緑色植物	緑藻	Lambertia judayi	282	46
19			Monoraphidium spp.	4	50
20			Oocystis sp.		16
21			Pediastrum tetras		+
22			Scenedesmus spp.	40	24
23			Schroederia sp.		8
24			CHLOROPHYCEAE	136	30
25	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		
26	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.		
27	繊毛虫	繊毛虫	CILIOPHORA	2	2
28	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	627	1470
29			鞭毛藻	84	560
総数				1948	3130
種類組成			藍藻	2	0
			クリプト藻	494	200
			渦鞭毛藻	6	2
			黄金色藻	26	490
			珪藻	237	218
			ユーグレナ藻	8	16
			緑藻	462	174
			その他の植物性動物性	711	2030
				2	0
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：別採水試料40mlを遠心分離（1320×g）により濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
			検鏡者所属氏名	(財)千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久	
備考					
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 					

亀山ダム貯水地

採取地点		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		H 19. 5. 15	H 19. 5. 15	H 19. 5. 15
採取時刻		14:40	15:10	13:00
全水深 (m)		19.2	15.9	16.9
採取水深 (m)		0.20	0.20	0.20
採水水量 (ml)		100	100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	72
2			CRYPTOPHYCEAE	84
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	1
4			Peridiniaceae	4
5			DINOPHYCEAE	2
6	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	2
7			Synura sp.	+
8		珪藻	Achnanthes spp.	8
9			Aulacoseira distans	4
10			Cymbella sp.	4
11			Navicula spp.	2
12			Nitzschia spp.	2
13			Synedra ulna	1
14			Thalassiosiraceae-5	+
15			Thalassiosiraceae-10	76
16			Thalassiosiraceae-25	18
17	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	12
18			Trachelomonas spp.	4
19	緑色植物	緑藻	Coelastrum spp.	112
20			Lambertia judayi	16
21			Monoraphidium spp.	6
22			Pediastrum boryanum	16
23			Pediastrum duplex	+
24			Pediastrum tetras	+
25			Scenedesmus spp.	8
26			Schroederia sp.	
27			Sphaerocystis schroeteri	
28			CHLOROPHYCEAE	120
29	節足動物	甲殻	CRUSTACEA	
30	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.	2
31	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis sp.	1
32			CILIOPHORA	8
33	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	1000
34			鞭毛藻	68
		総数	1596	1293
種類組成		藍藻	0	0
		クリプト藻	156	122
		渦鞭毛藻	2	5
		黄金色藻	0	2
		珪藻	110	7
		ユーグレナ藻	4	28
		緑藻	256	672
		その他の植物性動物性	1068	446
			0	11
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。	
		検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
		検鏡者所属氏名	(財)千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久	
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の断面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 				

亀山ダム貯水地

採取地点		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋				
採取年月日		H 19. 6.14	H 19. 6.14	H 19. 6.14				
採取時刻		10:30	12:10	11:14				
全水深 (m)		19.9	16.4	17.4				
採取水深 (m)		0.20	0.20	0.20				
採水量 (ml)		100	100	100				
No.	門	綱	出現種名					
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)	(18)	(3)	(38)		
2			Anabaena (螺旋トリコーム)	(4)				
3			Aphanizomenon spp.	(12)		(82)		
4			Merismopedia sp.	(2)				
5			Microcystis aeruginosa	170				
6			Microcystis wesenbergii	+				
7			Phormidium spp.	(2)		(10)		
8	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	38	292	68		
9			CRYPTOPHYCEAE	2	26	2		
10	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		3	2		
11			Peridiniaceae	4	16	10		
12	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon spp.	88	16			
13			Mallomonas spp.		16	14		
14			Asterionella formosa	170	138	358		
15		Attheya zachariasii	2	2	16			
16		Aulacoseira ambigua		+	12			
17		Aulacoseira distans		20				
18		Aulacoseira granulata	22		72			
19		Fragilaria crotonensis	2300	1490	1490			
20		Nitzschia spp.	8	8				
21		Rhizosolenia longiseta			4			
22		Synedra acus	88	34	48			
23		Synedra spp.	6	22	2			
24		Thalassiosiraceae-5	269	1470	430			
25		Thalassiosiraceae-10	10	20	24			
26		Thalassiosiraceae-25	2					
27		ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	4	22	10	
28				Coelastrum spp.	64	64		
29	緑色植物	緑藻	Elakathrix spp.	4		4		
30			Golenkinia radiata			4		
31			Lambertia judayi	12	8	10		
32			Monoraphidium spp.	38	20	32		
33			Oocystis sp.	16				
34			Pandorina morum			16		
35			Pediastrum boryanum	200	272	412		
36			Pediastrum duplex	240	136	80		
37			Pediastrum tetras			16		
38			Scenedesmus spp.	280	152	424		
39			Schroederia spp.	6		16		
40			Sphaerocystis Schroeteri	368	120	416		
41			Staurostrum spp.	4		2		
42			Tetraedron sp.		2			
43			Tetrastrum staurogeniaeforme		8			
44			CHLOROPHYCEAE	68	20	116		
45			繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis sp.			1
46					CILIOPHORA	12	26	6
47	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	1650	3870	788		
48			鞭毛藻	34	156	94		
総数			6217	8452	5129			
種類組成		藍藻	208	3	130			
		クリプト藻	40	318	70			
		渦鞭毛藻	4	19	12			
		黄金色藻	88	32	14			
		珪藻	2877	3204	2456			
		ユーグレナ藻	4	22	10			
		緑藻	1300	802	1548			
		その他の植物性動物性	1684	4026	882			
			12	26	7			
検査条件		固定条件	定量試料：グルタールアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理					
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。					
		検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。					
		検鏡者所属氏名	(財)千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久					
備考								
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の断面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 								

亀山ダム貯水地

採取地点		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋				
採取年月日		H 19. 7.26	H 19. 7.26	H 19. 7.26				
採取時刻		13:30	14:13	14:55				
全水深 (m)		20.8	15.5	16.6				
採取水深 (m)		0.20	0.20	0.20				
採水量 (ml)		100	100	100				
No.	門	綱	出現種名					
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)	+	(4)			
2			Anabaena (螺旋トリコーム)	+				
3			Aphanizomenon spp.	(2)	(24)	(4)		
4			Aphanocapsa sp.			(4)		
5			Phormidium sp.	(4)				
6	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	400	372	848		
7			CRYPTOPHYCEAE	44	16	84		
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		1			
9			Peridiniaceae	16	16	24		
10			DINOPHYCEAE	12		4		
11	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.		8			
12			ラフィド藻	+	+			
13		珪藻	Attheya zachariasii	8				
14			Aulacoseira ambigua		24			
15			Aulacoseira distans	+	40	8		
16			Aulacoseira granulata			24		
17			Nitzschia acicularis	4				
18			Nitzschia spp.	12	16	8		
19			Synedra acus	4		1		
20			Synedra spp.		4	4		
21			Thalassiosiraceae-5	3940	3260	3830		
22			Thalassiosiraceae-10	76	36	136		
23			Thalassiosiraceae-25	8				
24	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	320	84	108		
25	緑色植物	緑藻	Eudorina spp.	1600	896	992		
26			Monoraphidium spp.	80	60	148		
27			Pediastrum duplex		16	+		
28			Scenedesmus spp.	16	88	16		
29			Schroederia spp.	8		12		
30			Sphaerocystis schroeteri	16	32			
31			Tetraedron spp.	4		12		
32			CHLOROPHYCEAE	48	52	44		
33			輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.	2	1	6
34					Trichocercidae		1	
35					EUROTATOREA	1	+	
36	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis spp.	1		1		
37			CILIOPHORA	8	12	16		
38	肉質鞭毛虫	薬状根足虫	LOBOSEA			1		
39	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	1360	1760	1250		
40			鞭毛藻	236	380	332		
総数			8230	7203	7917			
種類組成			藍藻	6	28	8		
			クリプト藻	444	388	932		
			渦鞭毛藻	28	17	28		
			黄金色藻	0	8	0		
			珪藻	4052	3380	4011		
			ユーグレナ藻	320	84	108		
			緑藻	1772	1144	1224		
			その他の植物性動物性	1596	2140	1582		
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理				
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離 (1230×g) により濃縮した。				
			検鏡条件	定量試料：専用計数盤 (1.0ml及び0.5ml) に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡 (100~400倍) で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。				
			検鏡者所属氏名	(財) 千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久				
備考								
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に () を付した。 ・定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm) で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 								

亀山ダム貯水地

採取地点		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋				
採取年月日		H 19. 8. 15	H 19. 8. 15	H 19. 8. 15				
採取時刻		8:51	10:14	9:16				
全水深 (m)		19.8	14.8	15.9				
採取水深 (m)		0.20	0.20	0.20				
採水水量 (ml)		100	100	100				
No.	門	綱	出現種名					
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)	+				
2			Anabaena (螺旋トリコーム)	+				
3			Aphanizomenon spp.	(40)	(28)	(32)		
4			Microcystis aeruginosa		+			
5			Oscillatoria sp.		(1)			
6			Phormidium spp.	(40)				
7	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	232	380	408		
8			CRYPTOPHYCEAE	256	80	60		
9	不等毛植物	黄金色藻 珪藻	Mallomonas spp.	220	236	96		
10			Attheya zachariasii		4			
11			Aulacoseira ambigua		48			
12			Aulacoseira granulata	+	60			
13			Nitzschia spp.	12				
14			Rhizosolenia longiseta		4			
15			Synedra acus	1	4			
16			Thalassiosiraceae-5	287	179	+		
17			Thalassiosiraceae-10	8	8			
18			Thalassiosiraceae-25					
19			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	24	20	112
20			緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii	+		
21					Eudorina spp.	192	64	128
22	Monoraphidium spp.	20			36	140		
23	Pediastrum biradiatum					+		
24	Pediastrum duplex					16		
25	Pediastrum simplex	8				+		
26	Scenedesmus spp.	16			2			
27	Schroederia spp.	44			28	192		
28	Tetraedron sp.	4						
29		CHLOROPHYCEAE			20	164	28	
30	節足動物	甲殻			CRUSTACEA	1		
31	輪形動物	輪虫			Keratella spp.		2	
32					Polyarthra spp.	1	2	
33			Trichocercidae	1	1			
34			織毛虫	多膜口	Tintinnopsis spp.	2	+	3
35			CILIOPHORA	4	16	4		
36	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	4620	11100	2970		
37			鞭毛藻	200	428	344		
総数			6253	12890	4546			
種類組成			藍藻	80	29	32		
			クリプト藻	488	460	468		
			渦鞭毛藻	0	0	0		
			黄金色藻	220	236	96		
			珪藻	308	307	8		
			ユーグレナ藻	24	20	112		
			緑藻	304	294	504		
			その他の植物性動物	4820	11528	3314		
				9	16	12		
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理				
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。				
			検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。				
			検鏡者所属氏名	(財)千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久				
備考			<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属, Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm, 10 μm, 25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 					

亀山ダム貯水地

採取地		採取年	採取月	採取日	堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
		H 19.	9.	27	H 19. 9. 27	H 19. 9. 27	H 19. 9. 27		
		採取時刻			10:35	12:21	11:27		
		全水深 (m)			17.2	15.6	15.8		
		採取水深 (m)			0.20	0.20	0.20		
		採水量 (ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名						
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)		+				
2			Aphanizomenon spp.		(12)	(4)	(70)		
3			Aphanocapsa sp.		(4)				
4			Coelosphaerium sp.				+		
5			Microcystis aeruginosa		477	2050	108		
6			CYANOPHYCEAE (トリコーム)				+		
7			CYANOPHYCEAE (コロニー)				(20)		
8	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.		124	120	30		
9			CRYPTOPHYCEAE		120	100	60		
10	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		1	+	1		
11			Peridiniaceae		8				
12	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.		12	10	30		
13			珪藻		48	30	5		
14		Asterionella formosa		264	210				
15		Aulacoseira distans		16		140			
16		Aulacoseira granulata		240	240	190			
17		Fragilaria crotonensis		48	+	32			
18		Navicula sp.			10				
19		Synedra acus		40	1	80			
20		Thalassiosiraceae-5			+				
21		Thalassiosiraceae-10			20				
22		Thalassiosiraceae-25				10			
23	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.		4	10	50		
24	緑色植物	緑藻	Closterium sp.				+		
25			Crucigenia crucifera				40		
26			Dictyosphaerium spp.		21800	14500	22000		
27			Eudorina spp.			+	+		
28			Lambertia judayi		8	30			
29			Micractinium spp.		56		40		
30			Monoraphidium spp.			20	20		
31			Oocystis spp.		+	40			
32			Pediastrum asymmetricum		+				
33			Pediastrum biradiatum				+		
34			Pediastrum duplex				32		
35			Pediastrum simplex		8	16	32		
36			Planktosphaeria gelatinosa		+	+			
37			Scenedesmus spp.		232	120	180		
38			Sphaerocystis Schroeteri		48	640	520		
39			Staurastrum spp.		+	2	4		
40			Westella sp.				160		
41			CHLOROPHYCEAE		172	70	120		
42			輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.		1	1	3
43					Trichocercidae		1		
44			繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis spp.		+		1
45	CILIOPHORA				16		40		
46	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)		3040	1520	1700		
47			鞭毛藻		112	130	40		
総数					26912	19894	25758		
種類組成									
藍藻					493	2054	198		
クリプト藻					244	220	90		
渦鞭毛藻					9	0	1		
黄金色藻					12	10	30		
珪藻					656	511	457		
ユーグレナ藻					4	10	50		
緑藻					22324	15438	23148		
その他の植物性動物性					3152	1650	1740		
動物性					18	1	44		
検査条件					固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理			
					分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離 (1230×g) により濃縮した。			
					検鏡条件	定量試料：専用計数盤 (1.0ml及び0.5ml) に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡 (100~400倍) で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
					検鏡者所属氏名	(財) 千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久			
備考					<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に () を付した。 定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm) で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 				

亀山ダム貯水地

採取地		採 取 年 月 日	堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋		
採取時刻			11:05	11:55	10:36		
全 水 深 (m)			19.0	15.6	16.8		
採 取 水 深 (m)			0.20	0.20	0.20		
採 取 水 量 (ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出 現 種 名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.	+			
2			Microcystis aeruginosa	+	+		
3	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	86	276		
4			CRYPTOPHYCEAE	20	92		
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		9		
6	不等毛植物	珪藻	Amphora sp.	6			
7			Asterionella formosa	134	268		
8			Aulacoseira ambigua	70	308		
9			Aulacoseira distans	18	48		
10			Aulacoseira granulata	44	288		
11			Fragilaria crotonensis	100	436		
12			Nitzschia sp.	2			
13			Synedra acus	3	3		
14			Thalassiosiraceae-5	+			
15			Thalassiosiraceae-25	2			
16			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.		4
17			緑色植物	緑藻	Chlorogonium sp.	+	
18					Crucigenia crucifera	8	
19					Dictyosphaerium spp.	192	
20					Eudorina elegans		16
21	Eudorina spp.	64			320		
22	Lambertia judayi	70			40		
23	Monoraphidium spp.	20			28		
24	Oocystis spp.	8			16		
25	Pediastrum biradiatum	+					
26	Pediastrum duplex						
27	Scenedesmus spp.	40			56		
28	Schroederia sp.						
29	Sphaerocystis schroeteri	208			128		
30	Staurastrum sp.						
31	CHLOROPHYCEAE	16			8		
32	輪形動物	輪虫			Polyarthra sp.		1
33	繊毛虫	多膜口			Tintinnopsis spp.		8
34					CILIOPHORA	8	12
35	不明プランクトン				微小鞭毛藻 (5 μm以下)	358	1290
36			鞭毛藻	50	72		
総 数			1627	3719	2695		
種 類 組 成			藍藻	0	0		
			クリプト藻	106	368		
			渦鞭毛藻	0	9		
			黄色藻	0	0		
			珪藻	379	1351		
			ユーグレナ藻	0	4		
			緑藻	626	612		
			その他の植物性動物	408	1362		
				8	13		
検 査 条 件			固 定 条 件	定量試料：グルタールアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理			
			分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離 (1230×g) により濃縮した。			
			検 鏡 条 件	定量試料：専用計数盤 (1.0ml及び0.5ml) に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡 (100～400倍) で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
			検 鏡 者 所 属 氏 名	(財) 千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久			
備 考							
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に () を付した。 ・定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm) で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 							

亀山ダム貯水地

採取地点		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋				
採取年月日		H 19. 11. 14	H 19. 11. 14	H 19. 11. 14				
採取時刻		12:24	13:32	11:37				
全水深 (m)		20.8	14.3	16.7				
採取水深 (m)		0.20	0.20	0.20				
採水量 (ml)		100	100	100				
No.	門	綱	出現種名					
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(2)	(3)			
2			Microcystis aeruginosa	268	+			
3	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	148	148			
4			CRYPTOPHYCEAE	21	56			
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	DINOPHYCEAE	4	+			
6	不等毛植物	珪藻	Mallomonas sp.		4			
7			Amphora sp.	+				
8			Asterionella formosa			5		
9			Aulacoseira ambigua	25	128	16		
10			Aulacoseira distans	10	104	44		
11			Aulacoseira granulata	2	4	+		
12			Fragilaria crotonensis	14	+	5		
13			Nitzschia spp.	5				
14			Synedra acus		+			
15			Thalassiosiraceae-5		+	179		
16			Thalassiosiraceae-10	3	4	4		
17			Thalassiosiraceae-25	1		4		
18			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	20	72	
19			緑色植物	緑藻	Eudorina sp.		16	
20					Lambertia judayi	7	8	
21					Monoraphidium spp.	2	4	
22					Pandorina morum	16		+
23	Pediastrum duplex	16				16		
24	Scenedesmus spp.	14			32	12		
25	Staurastrum sp.				+			
26	CHLOROPHYCEAE	47			4	4		
27	節足動物	甲殻			CRUSTACEA		1	
28	輪形動物	輪虫			Polyarthra sp.		2	
29	織毛虫	多膜口			Tintinnidium spp.	1	+	
30			Tintinnopsis spp.		3			
31	不明プランクトン	-	CILIOPHORA	5	16			
32			微小鞭毛藻 (5 μm以下)	2010	1680	1250		
33			鞭毛藻	119	268			
総数			2744	2562	1770			
種類組成								
		藍藻	270	3	0			
		クリプト藻	169	204	80			
		渦鞭毛藻	4	0	8			
		黄金色藻	0	4	0			
		珪藻	60	245	252			
		ユーグレナ藻	20	72	8			
		緑藻	86	64	32			
		その他の植物性動物	2129	1948	1386			
			6	22	4			
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理					
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。					
		検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。					
		検鏡者所属氏名	（財）千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久					
備考								
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 								

亀山ダム貯水地

採取地			採 取 年 月 日	堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
			採 取 時 刻	9:00	9:40	8:20
			全 水 深 (m)	20.4	16.8	16.8
			採 取 水 深 (m)	0.20	0.20	0.20
			採 水 量 (ml)	100	100	100
No.	門	綱	出 現 種 名			
1	藍色植物	藍藻	CYANOPHYCEAE (トリコーム)		+	
2	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	4	36	44
3			CRYPTOPHYCEAE	10	4	6
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	DINOPHYCEAE		2	2
5	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa	7	16	8
6			Aulacoseira ambigua	13	9	88
7			Aulacoseira distans	14	24	88
8			Aulacoseira granulata		7	10
9			Fragilaria crotonensis	32		
10			Navicula sp.	2		
11			Nitzschia sp.	2		
12			Skeletonema potamos		4	8
13			Synedra acus	1	+	+
14			Thalassiosiraceae-5	+		+
15			Thalassiosiraceae-10	22	26	30
16			Thalassiosiraceae-25	10	18	8
17	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	6	30	38
18	緑色植物	緑藻	Ankistrodesmus falcatus	4		
19			Closterium sp.			1
20			Coelastrum spp.	+	+	
21			Elakatothrix sp.		+	
22			Monoraphidium spp.	10	14	8
23			Pediastrum tetras		+	
24			Scenedesmus spp.	+	8	24
25			Sphaerocystis schroeteri		+	
26			CHLOROPHYCEAE		12	12
27	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.		1	
28			EURYTOXEA			+
29	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	12	1	8
30			Tintinnopsis spp.		+	1
31			CILIOPHORA	14	24	4
32	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	663	1160	1310
33			鞭毛藻	24	48	58
総 数				850	1444	1756
種 類 組 成						
				藍藻	0	0
				クリプト藻	14	40
				渦鞭毛藻	0	2
				黄金色藻	0	0
				珪藻	103	104
				ユーグレナ藻	6	30
				緑藻	14	34
				その他の植物性動物	687	1208
					26	1368
検 査 条 件				固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
				分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。	
				検 鏡 条 件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
				検 鏡 者 所 属 氏 名	（財）千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久	
備 考				<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 		

亀山ダム貯水地

採取地点		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋				
採取年月日		H 20. 1. 9	H 20. 1. 9	H 20. 1. 9				
採取時刻		11:00	11:52	10:07				
全水深 (m)		17.4	15.6	16.4				
採取水深 (m)		0.20	0.20	0.20				
採水量 (ml)		100	100	100				
No.	門	綱	出現種名					
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia sp.	+				
2			Phormidium sp.	(2)				
3	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	116	120	26		
4			CRYPTOPHYCEAE	20	24	12		
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridiniaceae	60	10			
6	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	10	6			
7			Asterionella formosa	42	34	19		
8			Aulacoseira ambigua	60	23	78		
9			Aulacoseira distans	108	156	108		
10			Nitzschia acicularis	2	2	2		
11			Nitzschia spp.	7	2	2		
12			Skeletonema potamos	24	28	32		
13			Synedra acus	4	5	1		
14			Synedra sp.			+		
15			Thalassiosiraceae-5	609	824	215		
16			Thalassiosiraceae-10	176	116	114		
17			Thalassiosiraceae-25	104	108	102		
18			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	92	76	34
19			緑色植物	緑藻	Ankistrodesmus falcatus		+	
20					Chlorogonium spp.	+	2	
21					Closterium spp.	2	1	2
22					Coelastrum sp.		+	
23	Crucigenia tetrapedia				48			
24	Elakatothrix sp.	+						
25	Monoraphidium spp.	24			26	12		
26	Pediastrum duplex				+	+		
27	Scenedesmus spp.	16			8	16		
28	Schroederia sp.	+						
29	Staurastrum sp.					1		
30	CHLOROPHYCEAE	24			16	16		
31	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.		1			
32	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	2	4	7		
33			CILIOPHORA	20	10	14		
34	不明プランクトン	微小鞭毛藻 (5 μm以下)		2720	4370	2020		
35			鞭毛藻	366	194	110		
総		数	4610	6214	2943			
種類組成		藍藻	2	0	0			
		クリプト藻	136	144	38			
		渦鞭毛藻	60	10	0			
		黄金色藻	10	6	0			
		珪藻	1136	1298	673			
		ユーグレナ藻	92	76	34			
		緑藻	66	101	47			
		その他の植物性動物	3086	4564	2130			
			22	15	21			
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理					
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離 (1230×g) により濃縮した。					
		検鏡条件	定量試料：専用計数盤 (1.0ml及び0.5ml) に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡 (100～400倍) で検鏡した。 定性試料：プレバートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。					
		検鏡者所属氏名	(財) 千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久					
備考		<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレバートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に () を付した。 ・定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属, Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ：5 μm, 10 μm, 25 μm) で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

亀山ダム貯水地

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			H 20. 2. 14	H 20. 2. 14	H 20. 2. 14
採取時刻			10:48	11:33	9:32
全水深 (m)			19.8	15.2	16.5
採取水深 (m)			0.20	0.20	0.20
採水水量 (ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	4	58
2			CRYPTOPHYCEAE	4	4
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridiniaceae		2
4			DINOPHYCEAE		4
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.		8
6		珪藻	Asterionella formosa	270	360
7			Aulacoseira ambigua	24	46
8			Aulacoseira distans	96	104
9			Aulacoseira spp.	26	20
10			Nitzschia spp.	16	2
11			Skeletonema potamos	28	24
12			Synedra acus	10	16
13			Thalassiosiraceae-5	125	233
14			Thalassiosiraceae-10	32	40
15			Thalassiosiraceae-25	30	70
16	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	2	62
17	緑色植物	緑藻	Golenkinia radiata		2
18			Monoraphidium spp.	12	10
19			Oocystis sp.	4	
20			Pediastrum duplex		16
21			Pediastrum tetras		+
22			Scenedesmus spp.	36	40
23			Tetrastrum staurogeniaeforme		8
24			CHLOROPHYCEAE	40	46
25	織毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	2	6
26		-	CILIOPHORA		4
27	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	824	1020
28			鞭毛藻	60	78
総数				1641	2283
種類組成			藍藻	0	0
			クリプト藻	4	62
			渦鞭毛藻	0	6
			黄金色藻	0	8
			珪藻	657	915
			ユーグレナ藻	2	62
			緑藻	92	122
			その他の植物性動物性	884	1098
				2	10
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
			検鏡者所属氏名	（財）千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久	
備考					
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の穀面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 					

亀山ダム貯水地

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			H 20. 3. 13	H 20. 3. 13	H 20. 3. 13
採取時刻			10:05	10:40	9:27
全水深 (m)			20.4	14.8	16.3
採取水深 (m)			0.20	0.20	0.20
採水水量 (ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	CYANOPHYCEAE (トリコーム) (4)		
2	クリプト植物	クリプト藻	80	116	28
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Cryptomonas spp.		
4			Peridiniaceae		
5	不等毛植物	黄金色藻	4	8	32
6			DINOPHYCEAE		
7			44	32	80
8			Dinobryon spp.		
9			8	8	16
10			Mallomonas spp.		
11			Synura sp.		
12		珪藻	16	16	+
13			Asterionella formosa		
14			308	260	244
15			Aulacoseira distans		
16			32		36
17			Aulacoseira spp.		
18			8		
19			Nitzschia spp.		
20			788	592	856
21			Synedra acus		
22			8		
23			Synedra ulna		
24	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	+		573
25			20	48	300
26			4	24	16
27			Thalassiosiraceae-5		
28			Thalassiosiraceae-10		
29			Thalassiosiraceae-25		
30	緑色植物	緑藻	36	116	60
31			Trachelomonas spp.		
32			Chlorogonium sp.		
33				64	4
34			Coelastrum sp.		
35				8	8
36			Elakatothrix spp.		
37			40	16	48
38			Monoraphidium spp.		
39			32	96	120
40			Scenedesmus spp.		
41			8	4	
42			CHLOROPHYCEAE		
43	輪形動物	輪虫	EUROTATOREA		
44				1	
45	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		
46			1	2	+
47			Tintinnopsis sp.		
48			+		
49			CILIOPHORA		
50	肉質鞭毛虫	真正太陽虫		4	12
51				4	
52	不明プランクトン		HELIOZOA		
53			1540	2080	2610
54			微小鞭毛藻 (5 μm以下)		
55			148	272	368
56			鞭毛藻		
57			動物性		
総数			3125	3775	5411
種類組成			0	4	0
			80	116	28
			4	8	32
			52	40	96
			1184	940	2025
			36	116	60
			80	188	180
			1688	2352	2978
			1	11	12
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
			検鏡者所属氏名	（財）千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久	
備考					
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 					